



地域とともに 仲間とともに 生き生きと活動する子の育成

1. 令和7年度の全国学力・学習状況調査の教科に関する結果（6年生）から

6年生を対象に実施した令和7年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。今年度は、国語・算数・理科の3教科について調査がおこなわれました。本校の結果と今後の取組についてご報告します。なお、調査で図ることができるのは、あくまでも「学力」の一部分、学校教育活動の一側面を示すものでしかありませんが、調査結果を一つの指標として、分析・検証し、子どもたちの確かな学力・豊かな心の育成に向け、引き続き指導に取り組んでいきます。

本校の平均正答率は、以下の通り、国語、算数、理科の全ての教科で、全国平均・三重県平均を上回っています。特に、算数は、全国平均と比べて6ポイント上回っており、学校や家庭学習での積み重ねが力になっていると考えられます。

問題別にみると、国や県より正答率の高かった問題と低かった問題があります。今後も強みを伸ばしつつ改善すべき内容に力を入れていきたいと考えています。6年生では課題となっている問題を再度復習するとともに、他学年でも計画的・継続的に取り組み、改善を図ってまいります。

県・全国平均と比較して正答率の高い問題（○）と低い問題（▲）

平均正答率（％）	国語	算数	理科
野登小学校	67	64	59
三重県（公立）	66	57	56
全国（公立）	66.8	58.0	57.1

国語

- 漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題
- 目的に応じて文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題
- ▲話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題

算数

- 小数の加法について、数の共通する単位を捉えることができるかどうかをみる問題
- はかりの目盛りを読めるかどうかをみる問題
- ▲台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題
- ▲基本図形に分解することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

理科

- 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題
- ▲乾電池のつなぎ方において、直列つなぎに関する知識が身についているかどうかをみる問題

(4) わかなさんたちは、図3のような五角形アイウエオの面積の求め方を考えています。

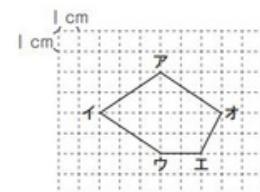


図3

わかなさんたちは、三角形や四角形の面積の求め方が使えるように、図3の五角形アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。



私は、直線イオをひいて2つの図形に分けようと思います。



私は、直線ウオをひいて2つの図形に分けようと思います。

わかなさんとゆうたさんのどちらの分け方でも、五角形アイウエオの面積を求めることができます。

五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたならどちらの直線をひいて求めますか。2つの図形に分ける1本の直線を、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、2つの図形の面積がそれぞれ何cm²になるのか、それらの求め方を、図3の中から必要な長さを調べて、式や言葉を使って書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

- 1 直線イオ
- 2 直線ウオ

2. 令和7年度第1回みえスタディチェックの結果（5年生・4年生）から

みえスタディチェックとは、これまでに行われてきた「全国学力・学習状況調査」の解答状況进行分析して三重県教育委員会が作成した問題による調査です。児童が自らの学習定着状況を確認することに加え、教員は児童の学習定着状況を把握することで、授業改善及び個に応じた指導の充実に活かしていきます。5年生は、国語、算数、理科の3教科、4年生は国語と算数の2教科に取り組みました。4・5年生ともに、国語、算数の教科で県平均を大きく上回り、5年生の理科で、県平均を上回る結果でした。

5年生「みえスタディチェック」の結果

平均正答率（％）	国語	算数	理科
野登小学校	64.4	61.8	56.6
三重県	55.2	55.8	55.1

4年生「みえスタディチェック」の結果

平均正答率（％）	国語	算数
野登小学校	76.0	83.6
三重県	58.7	60.9

県・全国平均と比較して正答率の高い問題（○）と低い問題（▲）

国語

- 話し合いの内容を正確にとらえてまとめることができるかどうかをみる問題（4年生）
- 地域の人たちと交流会でしたい昔の遊びを一つ選び、その理由を複数の資料の内容から取り上げて記述する問題（5年生）
- ▲漢字を書く問題（4年生）
- ▲絵をみて、その絵が表す場面がどこに書かれているかを文章の中からみつけ、選択する問題（5年生）

算数

- 2つの棒グラフの1目盛りの数の違いに着目し、示された事柄の正誤について選択し、その理由を説明する問題（4年生）
- 色をぬった部分の長さが $3/4$ mのテープを選択する問題（5年生）
- ▲午前11時40分から午後1時20分までの時間を選択する問題（4年生）
- ▲ $1.5 \div 3$ の式で求められる問題を全て選択する問題（5年生）

理科

- 自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く問題
- ▲モーターを回すために、誤った乾電池のつなぎ方を改善することができるかどうかをみる問題

3. 全国学力学習状況調査とみえスタディチェックの教科に関する調査結果から各学年で取り組む授業改善（4～6年生）

国語

- ・必要なことを記録したり質問したりして話の中心を捉えるよう指導する。実際の授業場面で、児童が自分の考えを表現できる場面を多く取り入れる。（6年生・5年生）
- ・文章を書く場面を継続して授業に取り入れる。「例えば～」、「事例をあげると～」、「なぜなら～」などの言葉を使って書くようにさせる。（5年生）
- ・学習した漢字を使って文章を書くようにさせる。（4年生）

算数

- ・四角形のうち平行四辺形、台形、ひし形のそれぞれの特徴を復習する。その際、算数用語（平行、垂直、向かい合う辺など）の意味を確認し、定着させる。他の学年でも、算数用語については、教室掲示をし、いつでも確認できるようにする。（6年生）
- ・問題場面をテープなどの図や数直線などに表し、数量の関係を的確に捉え、立式する活動や、情報や除法の問題場面を複数提示することで、問題場面を的確に捉えて立式する活動を授業に取り入れる。（5年生）
- ・時間を求める問題を時刻を求める問題として誤って読み取っている児童がいるため、問題文をしっかりと読むことを習慣づける。また、どのように考えたのか根拠を順序立てて説明する活動を授業に取り入れる。（4年生・5年生）

理科

- ・実験結果をまとめる際に、どのような結果になったのか、言語化させる。（6年生・5年生）
- ・観察・実験などに関する技能を身に付けるとともに、その差異点や共通点に着目して結果を考察させる。（5年生）

4. 全国学力・学習状況調査 「児童質問調査」から

全国学力学習状況調査には、教科に関する調査に加え、生活習慣や学習環境等に関することを問う「児童質問調査」があります。全国平均や県平均と比較して、本校に特に顕著な傾向があるものを中心に以下にまとめました。数値は、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」を選んだ子どもたちの割合です。なお、掲載していない結果につきましては、全国平均並びに県平均と顕著な差がありませんでした。令和6年度の同じ質問の結果と比較して10%以上、上がっている質問には↑を記入しました。下がっている質問はありませんでした。

肯定的意見が県・全国平均を大きく上回っていた（10%以上・肯定的意見が100%）事項

質問事項	野登小	三重県	全国
自分にはよいところがあると思いますか	↑100	85.1	86.9
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	100	92.5	92.2
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	↑83.3	69.5	70.6
学校に行くのは楽しいと思いますか	100	85.0	86.5
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	100	93.1	93.0
読書は好きですか	83.4	67.3	69.7
これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか	91.6	79.5	80.6
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか	66.7	40.5	39.4
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	↑91.7	65.7	67.6
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	↑91.7	78.8	80.3
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	100	82.6	83.4
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	100	89.4	87.4
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	↑91.7	76.2	82.3
国語の勉強は得意ですか	83.4	57.9	61.4
国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	100	76.1	75.6
算数の勉強は得意ですか	91.7	62.4	60.3
理科の勉強は得意ですか	91.7	74.3	78.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	100	87.8	88.9

県平均・全国平均と比較して、課題と考えられる事項

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）						
	3時間以上	2時間以上、 3時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
野登小	0.0	16.7	8.3	50.0	16.7	8.3
三重県	8.0	12.5	29.8	29.6	13.6	6.3
全国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）						
	3時間以上	2時間以上、 3時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
野登小	0.0	8.3	0.0	16.7	50.0	25.0
三重県	4.7	3.3	7.9	22.1	38.4	23.5
全国	7.4	4.4	9.7	25.6	35.2	17.5

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）						
	2時間以上	1時間以上、 2時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	10分以上、 30分より少ない	10分より少ない	全くしない
野登小	0.0	8.3	16.7	16.7	8.3	50.0
三重県	5.5	8.0	14.9	22.0	18.0	31.5
全国	6.4	8.8	15.9	22.1	17.4	29.2

児童質問紙の全体の結果をみると、本校の6年生児童は、「自己有用感等」「教科（国語・算数・理科）に対する意識」「総合的な学習の時間」「ICTを活用した学習状況」の領域では、県・全国平均を大きく上回っている状況です。日々の授業づくりや、児童一人ひとりを大切にした教育活動、地域の方々のご協力による総合的な学習の時間の展開の成果であると考えます。引き続き、授業改善に取り組み、児童の意欲や頑張りを認め、自己有用感をもてるよう、現在の指導を継続してまいります。「平日の学習時間」「休日の学習時間」については「1時間より少ない」児童の割合が県・全国平均と比較して高い傾向で、令和6年度と比較しても高くなっています。また、「学校の授業時間以外読書の時間」では、「全く読まない」児童の割合が50%と、県・全国平均より高い傾向です。読書を含めた家庭学習に力を入れていく必要があります。今年度は、試験的に、児童一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題するAI型教材「Qubena（キュービナ）」を児童の学習用タブレットに導入してまいりましたが、その後はそのさらなる活用と、宿題の内容の検討、読書活動の推進、そして、児童自らが家庭学習を含めた家庭での時間の過ごし方について自己マネジメントする力を身に付けられるよう、取組をすすめてまいります。